

OSAKA UNIVERSITY
School of Foreign Studies

令和4年度

3年次編入学試験 学生募集要項



School of Foreign Studies

大阪大学外国語学部

大阪大学外国語学部の概要

1 教育理念

外国語学部は、世界各地の言語及びそれを基底とする文化全般について理論と実際にわたって教授研究し、国際的な活動をするために必要となる幅広い知識と高い教養を育み、言語を通じて世界各地の文化と社会に関する深い理解を有する有為な人材を養成することを目的としています。

2 教育プログラム

専攻語教育について、4年間の体系的な一貫教育を実施しています。

1年次から少人数クラスの専攻語科目を必修として配置し、1年次・2年次においては、それぞれ5科目10単位の修得(ロシア語のみ6科目12単位)を進級の要件としています。

また、3年次・4年次においては、より高度な言語教育科目を配置するとともに、世界各地の言語文化に関する専門知識を深めるために、言語学、文学、歴史学及び社会学などについての多様な専攻科目(講義・演習)を開設しています。

なお、専攻語科目の1年実習、2年実習及び演習の教育については、専攻語ごとに各科目で到達度目標を定めており、客観的な到達度評価の制度を確立して、外国語学部における語学教育をより充実したものとし、また、社会的にも客観的で透明性のある教育内容であることを目指して実施しています。

さらに、他専攻における関連分野の学修をも視野に入れ、専門分野・領域の幅を広げることを目的として、学部共通科目(方法論科目、地域系科目、特設科目)を配置しています。

3 求める学生像

外国語学部は、大阪大学の教育目標のもと、世界の諸地域の言語に関する教育を出発点とし、言語を基底として営まれる文化や社会について、理論と実際にわたって教授することを通じて、国際社会の様々な場面で通用する高度な言語運用能力と世界に関する幅広い知識を有し、異文化理解力とおして人類と世界に貢献することのできる人材を養成することを目的としています。

この目的に沿って、外国語学部は、世界諸地域の言語、文化、社会に対する強い関心を持つ、次のような学生を募集します。

- [1] さまざまな文化背景を持つ人とコミュニケーションする能力を身につけたい人。
- [2] 世界諸地域の言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい人。
- [3] 言語を十二分に駆使して、世界諸地域の文化や社会の研究をしたい人。
- [4] 異文化間の対話と相互理解を深める架け橋になりたい人。
- [5] 世界的規模の諸問題を解決するため、国際的な活動や協力を推進したい人。

4 標準修業年限及び卒業要件について

① 標準修業年限

3年次編入学の標準修業年限は2年であり、通算4年を超えて在学することはできません。ただし、修業年限(在学期間)には、休学期間(最長2年)は含みません。

② 卒業要件

外国語学部に2年以上(4年以内)在学し、所定の履修方法に従い授業科目区分ごとに定められた卒業要件単位を、合計102単位(既修得単位として本学部が認定したものを含む。)以上修得することが必要です。

5 学位：学士(言語・文化)

外国語学部を卒業した者には、「学士(言語・文化)」の学位が授与されます。

外国語学科(専攻) アドミッション・ポリシー〔学生受入方針〕

| 専攻 | アドミッション・ポリシー(学生受入方針) |
|---------|--|
| 中国語 | 中国語専攻では、中国語学習を通じて、中国および中国語圏諸地域の言語、文化、社会についての高度な知識を得たいと考え、そのために深い探究心をもって問題にとり組み、中国語で積極的に学習や研究の成果を発信することを目標とする学生を求めています。 |
| 朝鮮語 | 朝鮮語専攻では、朝鮮語の運用能力と、朝鮮・韓国の言語、文化、社会に関する専門的な知識を身につけ、日本と朝鮮・韓国間の相互理解を深める架け橋になることを希望する学生を求めています。 |
| モンゴル語 | モンゴル語専攻では、モンゴルの言語と文化に強い関心を持ち、モンゴル語を習得して、異文化としてのモンゴルの多様性を積極的に学びたいと希望する明確な目的をもった情熱ある学生を求めています。 |
| インドネシア語 | インドネシア語専攻では、多彩な数百の民族から構成される東南アジア最大の国家であり、日本とも深い関係を持つインドネシアについて、インドネシア語の習得を基盤としながら、言語・文化・社会・宗教・歴史などの様々な面から積極的に学び、理解を深め、その成果を生かして、社会に貢献していきたいと希望する学生を求めています。 |
| フィリピン語 | フィリピン語専攻では、フィリピンの人・ことば・文化に関する研究テーマを多様な学問的視点から考え、それを自らのことばで表現し、私たちが暮らす市民社会に向けて積極的に発信したいと思っている人、さらに、研究テーマを深めたり、社会に貢献したりするために、フィリピン語の言語能力を高める努力を惜しまない学生を求めています。 |
| タイ語 | タイ語専攻では、タイ語による実践的コミュニケーションの能力を養い、かつそれを基礎にタイの社会的文化的ダイナミズムに対する深い洞察力を身につけたいと考える学生を求めています。 |
| ベトナム語 | ベトナム語専攻では、ベトナムに強い関心を持ち、ベトナムの言語と文化の学習に意欲的な人、そして、学んだことを活かして、国際的な仕事に就きたいと希望する学生を求めています。 |
| ビルマ語 | ビルマ語専攻では、ビルマ語の習得を基本にミャンマーの言語や文化、歴史、社会などの探究をとおして、他者を深く理解し共に生きていく意志を育みたいと希望する学生を求めています。 |
| ヒンディー語 | ヒンディー語専攻では、ヒンディー語習得への強い意欲を持ち、ヒンディー語を通じてヒンディー語圏の言語、文学、文化、社会、歴史などを深く研究したいと希望する学生を求めています。 |
| ウルドゥー語 | ウルドゥー語専攻では、文学、思想の表現手段として、また、多言語社会をつなぐ共通語の一つとして南アジアで重要な役割を果たしてきたウルドゥー語をしっかりと学習したい人、ウルドゥー語を通じてウルドゥー語圏の文学、文化、社会などを深く研究したいと希望する学生を求めています。 |
| アラビア語 | アラビア語専攻では、アラビア語習得への強い意欲を持つと同時に、日本も含めた世界の言語・歴史・社会・文化に限りない関心を寄せ、その学究を通じて多様化する現代社会への洞察を深めたい学生を求めています。 |
| ペルシア語 | ペルシア語専攻では、ペルシア語の着実な運用能力を身につけ、言語を基盤にイランおよび西アジアの文化と社会を深く探究しようとする、知的好奇心にあふれた学生を求めています。 |

| 専攻 | アドミッション・ポリシー(学生受入方針) |
|---------|---|
| トルコ語 | トルコ語専攻では、トルコ共和国の言語と文化、歴史、社会に強い関心を寄せ、その公用語であるトルコ語の習得に対する熱意を保ちながら、異文化理解への意欲を決して蔑ろにすることなく、トルコひいては東地中海地域やイスラム文化圏、またトルコ系諸語が話されている中央ユーラシアについて探求したいと志す学生を求めています。 |
| スワヒリ語 | スワヒリ語専攻では、東アフリカのスワヒリ語のみならず、広くアフリカの言語や文化、そしてアフリカが直面する同時代的な問題について学んでいきます。アフリカの言語に関心がある人はもちろんのこと、アフリカを通して世界のグローバルな問題について考え、取り組んでいきたいと希望する学生を求めています。 |
| ロシア語 | ロシア語専攻では、ロシア語圏の社会、歴史、文化、芸術、そして言語に大いに関心を持つ学生、そして何よりも、様々なことに好奇心を持ち、自分で考え、将来専門家として歩む自覚を持っている学生を求めています。 |
| ハンガリー語 | ハンガリー語専攻では、ハンガリー語とハンガリー語が話されている地域の文化・歴史・社会について深く学び、ハンガリーだけでなくヨーロッパ全般への関心と理解をもち、将来大学で学んだことを生かして積極的に社会で活躍したいと願っている学生を求めています。 |
| デンマーク語 | デンマーク語専攻では、デンマーク語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してデンマークの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求したいと希望する学生を求めています。 |
| スウェーデン語 | スウェーデン語専攻では、スウェーデン語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してスウェーデンの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求したいと希望する学生を求めています。 |
| ドイツ語 | ドイツ語専攻では、ドイツ語を意欲的に習得し、それを駆使してドイツ語圏の文化や社会(言語学、文学、歴史学、哲学など)に関する専門的な知識を身につけ、学んだ成果を生かして社会に貢献したいという情熱を持った学生を求めています。 |
| 英語 | 英語専攻では、実社会・世界で活躍できる高度な実践的英語運用能力を涵養するとともに、英米の言語、文学、文化、歴史、政経、国際ビジネスの各分野において専門的知識を身につけ、自らの主張を明確に発信しようとする学生を求めています。 |
| フランス語 | フランス語専攻では、フランス語やフランス語圏の文化(文学、思想、歴史、政治、経済、芸術など)に関心があり、その正しい知識と理解を深めたいと思っている学生を求めています。 |
| イタリア語 | イタリア語専攻では、多様性と伝統を大切にイタリアの言語、文学、歴史、社会、文化等に強い関心を持ち、イタリア語の高度な運用能力を身につけて、日本とイタリア両国の相互理解に貢献しようという意欲のある学生を求めています。 |
| スペイン語 | スペイン語専攻では、スペイン語を意欲的に習得し、学んだスペイン語を活用してスペイン語学、スペイン文学、ラテンアメリカ文学やスペイン史はもとより、スペイン語圏の政治や経済、文化一般に関する知識を積極的に身につけ、スペインおよびスペイン語世界について総合的に理解したいと思っている学生を求めています。 |
| ポルトガル語 | ポルトガル専攻では、ポルトガル語の高度な運用能力を身につけたいという熱意のある人、ポルトガルやブラジルの言語や文化に強い関心をもち、習得したポルトガル語を駆使してその多様性を主体的に探求しようという意欲のある学生を求めています。 |
| 日本語 | 日本語専攻では次のことに取り組む意欲のある学生を求めています。 <ul style="list-style-type: none"> ・外国語を身につけ、外国の事情を知る。 ・日本語・日本語教育・日本文化を客観的に捉え、多角的に学ぶ。 ・学びの成果に基づいてグローバル社会における架け橋となる。 |

令和4年度大阪大学外国語学部3年次編入学試験

募集要項

1 募集人員：外国語学部外国語学科 10名※

| 専攻名 | | |
|-----------|-----------|----------|
| 中国語専攻 | ウルドゥー語専攻 | ドイツ語専攻 |
| 朝鮮語専攻 | アラビア語専攻 | 英語専攻* |
| モンゴル語専攻 | ペルシア語専攻 | フランス語専攻 |
| インドネシア語専攻 | トルコ語専攻 | イタリア語専攻 |
| フィリピン語専攻 | スワヒリ語専攻 | スペイン語専攻 |
| タイ語専攻 | ロシア語専攻 | ポルトガル語専攻 |
| ベトナム語専攻 | ハンガリー語専攻 | 日本語専攻* |
| ビルマ語専攻 | デンマーク語専攻 | |
| ヒンディー語専攻 | スウェーデン語専攻 | |

※選考の結果、募集人員に満たない場合でも、合格としないことがあります。

*英語専攻又は日本語専攻を志願する者は、「5 出願に当たっての留意事項」を参照してください。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、志願する専攻言語^{*1}について、本学部の「専攻語科目（実習）」に相当する授業科目の単位を16単位以上^{*2}修得している者又は令和4年3月までに修得見込みの者

- (1) 日本の大学、短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又は令和4年3月までに卒業見込みの者
- (2) 日本の高等学校を卒業した者等で、かつ、次のいずれかに該当する者
 - ① 外国の短期大学を卒業した者又は令和4年3月までに卒業見込みの者
 - ② 外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を日本において修了した者又は令和4年3月までに修了見込みの者
- (3) 日本の高等学校を卒業した者等で、かつ、次の基準を満たす日本の専修学校の専門課程を修了した者又は令和4年3月までに修了見込みの者
 - ① 修業年限が2年以上であること。
 - ② 昼間学科若しくは夜間等学科で、全課程の修了に必要な授業時間数が1,700単位時間以上であること、又は、単位制による学科であるもの及び通信制の学科にあっては、全課程の修了に必要な総単位数が62単位以上であること。
- (4) 日本の大学に2年以上在学（休学期間は除く。）し、当該大学の卒業要件単位を62単位以上修得した者又は令和4年3月までに修得見込みの者
- (5) 日本の高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修

業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規程する者に限る。)

- (6) 外国において、学校教育における14年以上の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修了した者(外国において、最終の学年を含め2年以上継続して学校教育を受けた者に限る。)又は令和4年3月までに修了見込みの者
- (7) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における14年以上の課程を修了した者又は令和4年3月までに修了見込みの者

※1 日本語専攻志願者については、「指定した専攻言語」(5 出願に当たっての留意事項(2)参照)を指します。

※2 「3 出願資格予備審査」において認められた単位に限ります。(「3 出願資格予備審査」の*【単位の認定について】参照)
 本学部の「専攻語科目(実習)」に相当する授業科目の単位(修得見込みを含む。)については、20単位以上認定されていることが望ましい。なお、20単位に満たない者については、入学後に不足単位を修得しなければなりません。

3 出願資格予備審査〔3年次編入学試験出願予定者は必ず申請すること。〕

志願する専攻の「専攻語科目(実習)」に相当する授業科目の修得単位(修得見込みの単位を含む。)について、出願資格予備審査を行います。この審査により志願する専攻の「専攻語科目(実習)」に相当する授業科目の単位を16単位以上修得済み(又は見込み)であると認められた者で、かつ、「2 出願資格」の(1)から(7)までのいずれかに該当する者に限り3年次編入学試験に出願することができます。

*【単位の認定について】

出願資格予備審査において、本学部の「専攻語科目(実習)」に相当する授業科目として認められる単位は、当該言語の会話、作文及び文法等について、次のいずれかの形態で行われる授業科目の単位に限ります。

①実習(授業時間数30時間以上で1単位の科目)

②演習(授業時間数30時間以上で2単位の科目。ただし、授業時間数30時間で1単位の換算の上認定する。)

講義形態で行われる授業科目の単位は含みません。

また、大阪大学又は大阪外国語大学で修得した単位(見込みを含む。)については、講義・演習科目は含みませんので注意してください。

(1) 出願資格予備審査提出書類等

| 書 類 等 | 摘 要 |
|--|---|
| 出願資格予備審査申請書 | ・本学部所定のもの(様式①及び②) |
| 単 位 修 得 (見 込) 証 明 書 又 是 成 績 証 明 書 | ・在籍(出身)学校長(大学長/学部長等)が作成し厳封したもの ・偽造防止用紙による証明書の場合は、特に厳封を要しません。 ・現在履修中又は履修予定の科目について、「単位修得(見込)証明書」が申請期間内に発行されない等の理由で提出できない場合は、申請書「様式③:履修科目についての自己申請書【出願資格予備審査用】」を提出してください。(この場合でも、「単位修得(見込)証明書」が発行された場合 |

| | |
|--------------------------------|--|
| | <p>は、速やかに提出してください。)</p> <p>ただし、予備審査申請時までには修得済の単位については、必ず「単位修得証明書」又は「成績証明書(科目ごとの単位数が記載されたもの)」を提出してください。</p> <p>・(注)4 を参照のこと。</p> |
| 授業の概要がわかるもの | <p>◆各授業科目の、単位を修得した学期(年)における授業内容、授業形態及び総授業時間数(又は1回の授業時間数及び授業回数)が分かるものを提出してください。</p> <p>・シラバス(授業概要を記載したもの)は必ず提出してください。</p> <p>・各授業科目ごとの上記「総授業時間数」を確認するため、所属学校・学部・コース等の「学生便覧」「学則」「(学部等の)規程」等により、該当箇所の写しを併せて提出してください。</p> <p>・(注)4 を参照のこと。</p> |
| 学 歴 調 書 | <p>(「2 出願資格」の(6)又は(7)により出願する者のみ提出してください。)</p> <p>・様式は任意です。小学校入学年次から記入してください。</p> |
| 出 願 資 格 予 備 審 査 結 果 通 知 封 筒 | <p>長形3号(120mm×235mm)封筒の表面に予備審査申請者の郵便番号・住所・氏名を明記し、速達簡易書留用として694円分の郵便切手を貼付してください。</p> |

- (注) 1 提出後の書類の追加・差し替えは認めません。
- 2 提出書類等に不足や記入漏れ等があると判断された場合は、受理しないことがありますので、不備等がないか十分確認した上で提出してください。(特に「2 出願資格」(6)または(7)により出願しようとする者は、出願資格に該当するかどうかについて、事前に提出書類等について学生支援係まで照会することをお勧めします。)
- 3 婚姻等により証明書等に記載された氏名と現在の氏名が相違している場合は、改名したことを証明する公的書類を添付してください。
- 4 出願資格予備審査提出書類については、本学部の「専攻語科目(実習)」に相当すると思われる授業科目についてのみ、記入・提出してください。なお、提出書類が日本語以外の言語の場合は、必ず該当書類に日本語訳を添付してください。

(2) 出願資格予備審査申請期間：

令和3年8月18日(水)～8月27日(金) 17時00分必着

申請期間内に郵送により到着したもののみを受け取ります。申請書類を角形2号(240mm×332mm)封筒に入れて、封筒の表に「3年次編入学試験出願資格予備審査書類在中」と朱書きし、箕面事務室学生支援係に必ず申請期間内に到着(必着)するように、郵便事情を十分考慮の上、書留により発送してください。直接持参されても受理しません。

ただし、期限後に到着した場合でも、8月25日(水)以前の日本国内発信局消印のある「書留」便に限り受け取ります。

(3) 出願資格予備審査結果通知発送予定日：令和3年10月5日（火）

※速達簡易書留郵便により結果をお知らせします。なお、電話による問い合わせは一切受けません。

(10月8日（金）を過ぎても届かない場合は、学生支援係までご照会ください。)

4 出願手続〔「3 出願資格予備審査」により、出願に要する16単位が認められた者のみ出願できます。〕

(1) 出願書類等(提出対象者の記載がないものは全員提出してください。)

| 書 類 等 | 摘 要 |
|---|--|
| 入 学 願 書 | <ul style="list-style-type: none"> ・本学部所定のもの〔様式A〕 ・写真は、上半身正面向無帽で、出願前3か月以内に撮影したものを添付してください。(写真の大きさ縦4cm×横3cm) |
| 単 位 修 得 (見 込) 証 明 書 又 は 成 績 証 明 書 | <ul style="list-style-type: none"> ・在籍(出身)学校長(大学長/学部長等)が作成し厳封したもの(偽造防止用紙による証明書の場合は、特に厳封を要しません。) ・現在履修中又は履修予定の科目について、「単位修得見込証明書」が申請期間内に発行されない等の理由で提出できない場合は、別添〔様式C〕:履修科目についての自己申請書【出願用】を提出してください。(この場合でも「単位修得見込証明書」が発行された場合は、速やかに提出してください。) ただし、出願時までに修得済の単位については、必ず「単位修得証明書」又は「成績証明書(科目ごとの単位数が記載されたもの)」を提出してください。 |
| 志 望 理 由 書 | <ul style="list-style-type: none"> ・本学部所定のもの〔様式B〕 ・志願する専攻言語で記入してください。なお、日本語専攻を志願する外国人留学生は、日本語で記入してください。 ・ワープロ等により作成しても差し支えありませんが、様式に貼付する場合は、該当枠内に収まるように貼り付けてください。 |
| IELTS(Academic Module)、 TOEFL-iBT Test、 又はTOEFL-ITP Tests のいずれか一つの 成績証明書等 (写し及び原本) | <p>〔英語専攻〕志願者又は〔日本語専攻(専攻言語「英語」)〕志願者のみ提出してください。〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原本は、写しと照合した後、別途、郵送にて返却します。 ・2019年度(2019年4月1日)以降に受験したもので、出願時において有効期限内であるものに限りです。 ・「5 出願に当たっての留意事項」、及び「7 英語外部検定試験の利用について」も必ず確認してください。 |
| 「日本語能力試験(レベルN1)の合格通知書(写し)及び成績に関する証明書 | <p>〔日本語専攻〕に出願する外国人留学生のみ提出してください。〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度(2019年4月1日)以降に受験したものに限りです。 ・「5 出願に当たっての留意事項」も必ず確認してください。 |
| 大学等の卒業・修了 (見込)証明書 | <p>〔2 出願資格〕の(1)又は(2)により出願する者のみ提出してください。〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍(出身)学校長(大学長/学部長等)が作成し厳封したもの(偽造防止用紙による証明書の場合は、特に厳封を要しません。) |

| | |
|--------------------------------|--|
| 高等学校の卒業 証明書等 | 〔「2 出願資格」の(2)により出願する者のみ提出してください。〕 ・高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条に規定する者に該当する者であることを証明する書類 |
| 大学に編入することができる専門課程であることの証明書 | 〔「2 出願資格」の(3)により出願する者のみ提出してください。〕 ・在籍している(していた)専門課程が、「2 出願資格」の(3)①及び②の基準を満たしていることを証明する書類 |
| 在学証明書又は 在学期間証明書 | 〔「2 出願資格」の(4)により出願する者のみ提出してください。〕 ・入学年度及び証明書発行日時点の在学年次が明記されたもの。休学期間がある場合は、休学期間が明記されたもの。 |
| 高等学校等の専攻科の 課程修了(見込)証明書 | 〔「2 出願資格」の(5)により出願する者のみ提出してください。〕 |
| 検 定 料 (30,000円) 下記(注)3参照 | ・検定料振込依頼書により、令和3年10月8日から10月18日までの間に金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)の窓口でお振込みください。(ATM, インターネット等)は利用できません。 ・検定料納入証明書を必ず入学願書の所定の箇所にはがれないように貼付してください。 ・金融機関の収納印のない検定料納入証明書、及び検定料納入証明書貼付のない入学願書は無効とし、当該入学願書は受理しません。 |
| 受験票・写真票・発送票 | 本学部所定様式の枠内に志願専攻・氏名等、必要事項を忘れず記入してください。 |
| 返信用封筒 (受験票送付用) | 長形3号(120mm×235mm)封筒の表面に出願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、84円分の郵便切手を貼付してください。(書留による受験票発送を希望する場合は、404円分の郵便切手を貼付してください。) |

(注)1 提出書類が日本語以外の言語の場合は、必ず日本語訳を添付してください。(「志望理由書」は除く。)

2 婚姻などにより証明書等に記載された氏名と現在の氏名が相違している場合は、改名したことを証明する公的書類を添付してください。

3 納付された検定料は、次の場合を除き返付しません。

- (1) 出願書類を提出しなかった場合又は受理されなかった場合
- (2) 検定料を誤って、重複して振り込んだ場合
- (3) 出願を受け付けた後において、出願資格のないことが判明した場合

(2) 出願期間

令和3年10月13日(水)～10月19日(火)17時00分必着

出願期間内に郵送により到着したもののみを受け取ります。申請書類を角形2号(240mm×332mm)封筒に入れて、封筒の表に「3年次編入学試験出願書類在中」と朱書き

し、箕面事務室学生支援係に必ず申請期間内に到着（必着）するように、郵便事情を十分考慮の上、書留により発送してください。直接持参されても受理しません。

ただし、期限後に到着した場合でも、10月17日（日）以前の日本国内発信局消印のある「速達書留」便に限り、受け取ります。

(3) 受験票の送付について

受験票は、令和3年10月26日（火）以降に、郵送する予定です。なお、発送予定日後5日経っても受験票が届かない場合は、学生支援係までご連絡ください。

5 出願に当たっての留意事項

(1) 志願者は、出願の際に専攻を指定してください。*¹

(2) 日本語専攻では、「専攻語科目（演習）」として、25言語の内一つの専攻言語を卒業までに8単位以上履修する必要があるため、日本語専攻を志願する者は、出願時に本学部が開設する25言語から、一つの専攻言語を指定してください。

ただし、この専攻言語に「日本語」を指定することができる者は外国人留学生*²のみとし、日本語専攻を志願する外国人留学生*²はこの専攻言語に「日本語」以外の言語を指定することはできません。

また、日本語専攻志願者で専攻言語「英語」を指定することができる者は、英語専攻を志願する者と同様に英語外部検定試験を受験している者*¹に限ります。

※1 英語専攻志願者は、出願書類として、IELTS(Academic Module)、TOEFL-iBT Test、又はTOEFL-ITP Testsの成績票（いずれか1つのみ）の提出が必要となります。

ただし、いずれも2019年4月以降に受験したもので、出願時において有効期限内であるものに限り、（*【注意】参照）詳しくは、「7 英語外部検定試験の利用について」をご確認ください。

※2 日本国籍を有しない者（日本国の永住許可を得ている者を除く）で、財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が2019年度以降に実施した「日本語能力試験（レベルN1）」に合格している者を対象とします。（*【注意】参照）

出願書類とともに「合格通知書」の写し及び「認定結果及び成績に関する証明書」の提出が必要となります。

*【注意】上記のいずれかの外部検定試験の受験について、申し込みを行ったが（または、申し込みを行う予定であったが）、新型コロナウイルス感染症の影響により、当該試験の実施が中止または延期となり受験できていない方は、別途、箕面事務室学生支援係宛てにご相談ください。

6 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、学力検査の成績及び出願書類の審査の結果を総合して行う。

(2) 学力検査の実施日程等 実施期日：令和3年11月20日（土）

| 科目（配点） | 時 間 | 摘 要 |
|--------------|-------------|---|
| 外 国 語（100点）※ | 10：30～12：00 | 志願する専攻言語の試験を課します。 ※英語専攻志願者、または日本語専攻志願者で専攻言語に「英語」を選択する者は、下記(注)をご参照ください。 |
| 口 述 試 験（50点） | 13：00～ | 合格判定の対象とならないと判断されれば不合格とします。 |

(注) 英語専攻志願者、または日本語専攻志願者で専攻言語「英語」を選択した者に対しては、試験科目『外国語』として「英文による小論文（英文により解答する小論文）」の試験を課し、その得点に別途提出される英語外部検定試験の成績を得点換算した得点を加えた合計点（配点100点）により評価します。

(3) 試験場

大阪大学外国語学部 箕面市船場東3丁目5番10号（箕面キャンパス）

（「案内図・問い合わせ先」参照）

7 英語外部検定試験の利用について

英語専攻志願者、または日本語専攻志願者で専攻言語に「英語」を選択する者は、IELTS(Academic Module)、TOEFL-iBT Test、又はTOEFL-ITP Testsの成績証明書（いずれか1つのみ）の提出が必要です。

成績証明書等の提出にあたっては、以下の点について留意願います。

【全般的事項】

- ・ ①IELTS(Academic Module)、②TOEFL-iBT Test、又は③TOEFL-ITP Testsの成績証明書等（いずれか1つのみ）を提出してください。
- ・ 2019年4月1日以降に受験したもので、出願時において有効期限内である成績票のみ有効です。
- ・ 提出された成績証明書は原本を除き返却しません。

【①IELTS(Academic Module)】

出願書類として、成績証明書の原本と写しを提出してください。

なお、本学部3年次編入学試験合格の際には、別途、IELTS事務局から大学に直接送付される電子送信での成績証明書（Test Report Form）が必要〔受験者の手続きが必要〕となりますので、ご注意ください。（詳細は、「合格通知書」に同封する「入学手続案内」にてお知らせします。）

【②TOEFL-iBT Test】

出願書類として、成績証明書の原本と写しを提出してください。

なお、本学部3年次編入学試験合格の際には、別途、ETS (Educational Testing Service以下同じ。) から大学に直接送付される公式スコアレポート (Institutional Score Report又はOfficial Score Report) が必要 [受験者の手続きが必要] となりますので、ご注意ください。
(詳細は「合格通知書」に同封する「入学手続案内」にてお知らせします。)

【③TOEFL-ITP Tests】

TOEFL-ITP Testsのスコアレポート (受験者用控え) の写しを提出してください。本学以外で受験したTOEFL-ITP Testsのスコアレポート (受験者用控え) の写しを提出する場合は、テストを実施した機関 (所属 (出身) 大学等) による原本証明が必要です。(原本証明の無いものは無効とします。) 出願期間内にスコアレポート (受験者用控え) の写しの提出が無い場合は受験を認めません。

8 合格者の発表

合格者の発表は、令和3年12月24日 (金) 13時から外国学研究講義棟2階掲示板で、受験番号の掲示により行うとともに、合格者には合格通知書を送付します。また、外国語学部の下記ホームページでも合格者の受験番号を公開する予定です。

http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/admission/a_fs_info.html

なお、合否に関する電話による問い合わせには、一切応じません。

9 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願書類に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜 (出願処理及び選抜試験実施)、合格者発表及び入学手続等の入試業務を行うために利用し、それ以外の用途では使用しません。
- (2) 入学者選抜に用いた試験の成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用し、それ以外の用途では使用しません。
- (3) 上記(1)及び(2)の業務での利用に当たって、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合、個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、知り得た個人情報の全部又は一部を、当該事業者に対して提供することがあります。

10 入学手続

合格者は、合格通知書に同封する「入学手続案内」に従い、次のとおり入学手続を完了してください。(詳細については、「入学手続案内」にてお知らせします。) なお、下記の入学手続期間中に入学手続を完了しない者については、入学を辞退したものとして取り扱います。

① 入学手続期間：令和4年3月8日 (火) ~ 3月11日 (金)

② 提出書類：「入学手続案内」にてお知らせします。

③ 納付金：入学料 282,000円

授業料 年額 535,800円 (前期分 267,900円・後期分 267,900円)

(注) 上記の納付金額は、予定額であり、納付金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

11 既修得単位の認定

「8 合格者の発表」の際、合格者を対象に手続きについてお知らせします。

入学前に大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学等において修得した単位は、下表に定める単位数の範囲で、審査の上、本学部において修得したものとして認定されます。

| 入学 種別 | 科目群 | 専 門 教 育 系 科 目 | | | | | | | |
|----------|-------------|---------------|----------|----|------|-------------|------------|------------|----------|
| | | 専攻語科目 | | | 専攻科目 | | 学部共通 科目 | 他学部 等科目 | 卒業 論文 |
| | | 1年 実習 | 2年 実習 | 演習 | 講義 | 演習 | | | |
| 要件単位数 | 10 (12)※ | 10 (12)※ | 48 | | 6 | — | 8 | | |
| | — | 20(16)※ | | | | | | | |
| 編入学 | 10 (12)※ | 10 (12)※ | - | 4 | - | 14 (10)※ | — | — | |

※ () 内の数字は、「ロシア語専攻」学生、又は「日本語専攻『専攻言語：ロシア語』」学生に適用する。

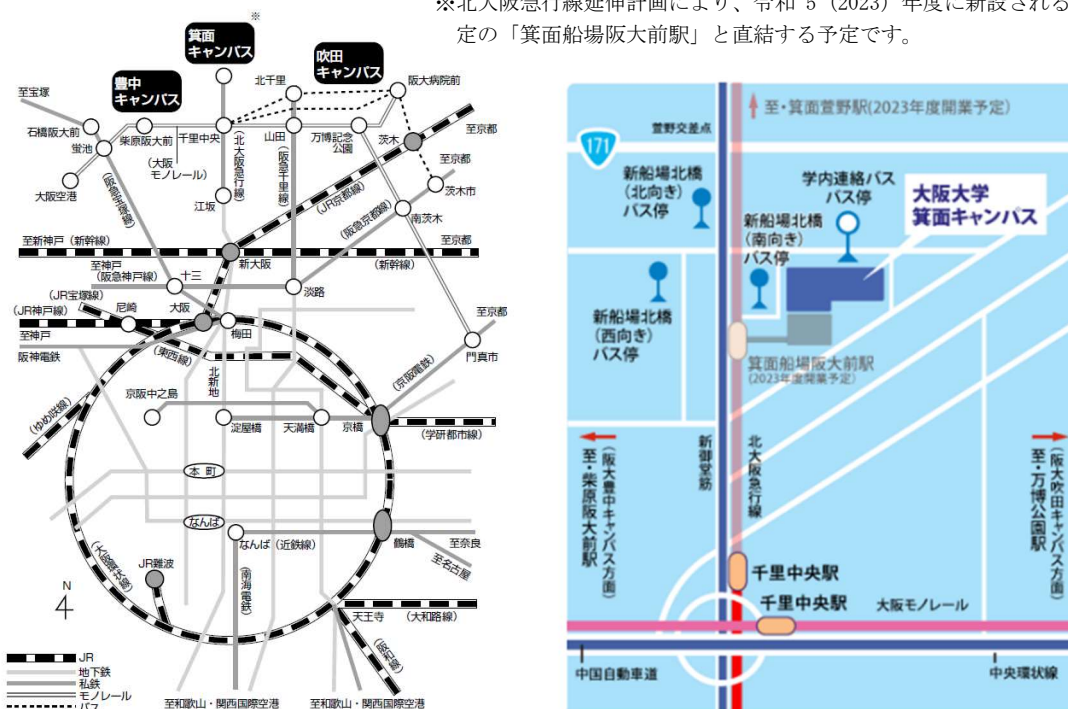
12 その他

- (1) 入学願書等の所定様式は、大阪大学外国語学部ホームページ（入試情報）からダウンロードのうえ利用してください。提出書類は全てA4判用紙（白紙）で印刷してください。
(http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/admission/a_fs_info.html)
ホームページからダウンロード及び印刷できる環境にない方は、郵送で請求してください。その場合は、封筒の表に「外国語学部3年次編入学試験学生募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒（角形2号（240mm×332mm）封筒に210円分の切手を貼付し、本人の宛名を明記したもの）を同封の上請求してください。請求先等は、末記の《問い合わせ先》とします。
- (2) 受験に関する問い合わせは、志願者本人が箕面事務室学生支援係に電話又はメールで行ってください。
- (3) 出願書類の記入事項及び書類等に不備がある場合は、受理しません。
- (4) 出願書類受理後は、書類の追加・差し替えや記入事項の変更は認めません。また、出願書類及び納入された検定料は返付しません。
- (5) 障がい等のある者で、受験上及び修学上特別な配慮を希望するものは、出願資格予備審査申請期間最終日〔8月27日（金）〕までに、箕面事務室学生支援係へ申し出てください。
- (6) 受験上の注意事項
 - ① 試験室等については、試験当日、箕面キャンパス外国学研究講義棟1階エントランスホールに掲示する予定です。
 - ② 試験当日は、受験票及び筆記用具（黒鉛筆又は黒い芯のシャープペンシル、消しゴム）を必ず持参してください。
 - ③ 受験票を忘れた場合は、試験場本部に申し出てください。
 - ④ 口述試験の最終終了予定時刻は18時ですが、事情によってはそれより若干遅くなる場合があります。
 - ⑤ 試験当日は、学内食堂等は営業していませんので、昼食は各自で用意してください。

案内図・問い合わせ先

《案内図》

※北大阪急行線延伸計画により、令和5(2023)年度に新設される予定の「箕面船場阪大前駅」と直結する予定です。



モノレール・北大阪急行線：

千里中央駅下車 北へ徒歩 約25分

※新御堂筋沿いを北へ進んでください。(住宅街は通らないようにご注意ください。)

バス：

○阪急バス 千里中央発

⑦停留所 [81][82][83]系統、[85]系統、[22]系統 または ⑩停留所 [19][20]系統

新船場北橋 下車 徒歩約5分

※急行便など新船場北橋に停車しない便もありますので、ご注意ください。

※系統によって、下車するバス停の位置が異なります(北向き)もしくは(西向き)。

千里中央方面へは(南向き)のバス停をご利用ください。

《問い合わせ先》

大阪大学言語文化研究科・外国語学部箕面事務室学生支援係

〒562-8678 大阪府箕面市船場東3丁目5番10号

TEL (072) 730-5069 (直通)

E-mail genbun-minoh-shien@office.osaka-u.ac.jp

HP <http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/>

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、選抜方法及び日程等について変更になる可能性があります。変更が生じた場合は、ホームページまたは受験票交付時を通じてお知らせします。